

ベストパートナーとして

アクサ生命保険(株)山形支社長

中尾 和司氏



1月1日付でアクサ生命の山形支社長に赴任いたしました。常日頃より私どもの担当職員をご支援頂き感謝申し上げます。紙面をお借りし、あらためて当社の歴史等について紹介させていただきます。

アクサ生命は、フランスに本部のある世界最大級の保険金融グループであるAXAが日本に設立したアクサ生命と日本団体生命保険が平成12年に統合し誕生いたしました。商工会議所との関わりは、昭和9年に日経連の前身である全国産業団体連合会と商工会議所が推進母体となって日本で初めて団体保険専門会社として設立された日本団体生命に由来しています。初代会長は日本商工会議所会頭・東京商工会議所会頭の郷誠之助氏、支店長は商工会議所常務理事が兼任しスタートしました。

全国各地の商工業者やその家族、従業員の生活保障のための福祉制度を担うとともに、戦後は、独占禁止法が施行され、一般の保険会社も団体保険を取り扱えるようになりましたが、団体保険のパイオニアとして商工会議所の共済制

度を通じて社業を展開してまいりました。

昭和42年に生命共済制度、45年に特定退職金共済制度を発足。平成8年には商工会議所共済制度の普及・推進を通じ商工業者の福利厚生の上と企業経営の安定を図り、地域社会への貢献に寄与することを目的に「ベストウィズクラブ」を設立しました。おかげさまで2019年4月1日現在、全国の97%を超える500商工会議所が会員となる大きな組織に発展しています。

山形県においても、県内7つの商工会議所（山形、酒田、鶴岡、米沢、新庄、長井、天童）全てでアクサ生命の保険制度を採用いただいております。また、山形支社では山形県と「健康長寿日本一の実現」、協会けんぽ山形県支部と「健康事業所宣言」、山形県商工会議所連合会と「健康経営」に関わる連携協定を結び、山形県内における健康経営キャンペーンを展開しています。山形支社のほぼ全社員が健康経営アドバイザー資格を取得し、日常の営業活動の中で経営者の方々に健康経営を提案、その普及と実践支援に取り組んでいます。

アクサ生命の歴史は、全国に125万会員ある商工会議所会員企業様と共に歩んできた歴史です。そして山形県内においても、半世紀以上に及び商工会議所の共済制度の推進活動をしてきたという歴史があります。中小企業の福利厚生に貢献したい、ひいては地域社会の発展に貢献したいという想いを、県内の商工会議所と共に一つひとつ積み上げてきました。中小企業を取り巻く環境は刻一刻と変化しています。地域社会が活性化するには皆様の企業が元気でなければいけません。これからも、会員皆様のベストパートナーとして選ばれる会社を目指してまいります。

（p27にアクサ生命保険(株)による山形商工会議所の共済制度・福祉制度を案内）